

大分教育事務所訪問②-63 (計136)

大分市立明野北小学校に学ぶ  
学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心をもち、ともに学び合い支え合う、心身ともにたくましい子どもの育成」を達成するため、生活指導部、研修部、保健部を中心に取組指標を作成し、それぞれの振り返りシートをもとにより具体的な取組へと進化しています。特に学んだ事は、これまで行っていたマラソン大会の目的を見直し、ペースランニングを取り入れたクロスカントリーに変更したことは、それぞれの行事は何のために行うのか、どのような資質・能力をつけるのかを意識された実践だと思いました。

子ども達には、児童会と【よ】よくそろったスリッパ、【い】いつも右側歩行、【さ】さわやか先手あいさつ、【し】しんけん無言そうじ、【み】みんなでよい行い に取り組まれています。このことも、礼儀、思いやり、忍耐力、安全意識、奉仕の心を育てることを目的をしています。

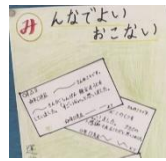
今後は、協議の際に確認した「表現力」のように、学校をあげて育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を、より明確にされてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながると期待されます。また、児童へのアンケートも、数値の高い項目においては、意識させたいことやより向上させたいようなメッセージ性のあるものへ進化させることで、子ども達の行動の変化が生じ成長を感じさせるものになると思いました。参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47-53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力

ア 言語活動

授業から学ぶ

参観したどの授業においても、教師と子ども達の関係がよく、温かな空気を感じました。そのため、聴く姿勢がよい子どもが多く、自然と学ぶ姿がみられました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記してみてもいいでしょうか。教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善がより推進されると思いました。



NO.597 2021年12月 大分市立明野北小学校

よく考える子

挙手をして発言する人。友達の発言を聴いて自分の思いと比べる人。静かに考える人。それぞれみんな伸びる人。



NO.599 2021年12月 大分市立明野北小学校

たくましい子

背筋を伸ばし、しっかりと黒板を見る。やる気の姿勢は迫力さえ感じる。



NO.598 2021年12月 大分市立明野北小学校

おもいやり

友達の作品であっても真剣に作業をする。相手が喜ぶ顔が見たいから。



NO.600 2021年12月 大分市立明野北小学校

圧倒的に

感じた事や学んだ事、自分の思いを多くの人に伝えたい。そのような思いを感じます。